

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年1月27日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	広島県	代表者名	湯崎英彦
担当者部署	総務局	連絡先電話番号	082-513-2451
担当者役職	主任	担当者氏名	塚本正太郎
		連絡先E-mail	
住所	730-8511 広島県広島市中区基町10-52		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	情報システムの標準化や行政手続のオンライン化について、各市町の取組における現状や課題に対し、国の動向や助言等によりフォローしていただいた。また、各市町の担当者から出た質問についても、丁寧に回答していただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年12月21日	フォローアップ(オンライン)	有	令和4年11月25日	397
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年1月26日	フォローアップ(オンライン)	13時00分	16時30分	
				活動時間（分）	210
3-2. 派遣場所	会場名			最寄駅	
	所在地			最寄駅からの交通手段	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	県職員および県内市町職員（情報政策部門の担当者）	66人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	「自治体情報システムの標準化・共通化」及び「行政手続のオンライン化」の取組について、短期間で計画的に作業を進めることが必要となることから、『自治体DX推進に係る広島県・市町担当者連絡・調整会議』を設置し、市町間の連絡調整、横連携の確保等を図っているところであるが、特に標準化およびガバメントクラウドに関する事項については、国から示される情報が未だ少なく、市町が具体的な計画や実行に移せていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	標準化およびオンライン化について、県内市町が、着実に取組を進められること。そのためには、都道府県の役割として、市町に対し最新の情報を提供しつつ、横連携の確保や課題解決の支援に取り組むなどとして、しっかりと市町の取組を支援していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	情報システムの標準化については、標準化基本方針以降国が発出している文書等を整理する中で、最新の動向等についてフォローしていただいた。また標準化への移行の取組の中で各市町における現状や課題に対し、助言等をいただいた。標準化に加え、行政手続のオンライン化も含めた各市町の担当者からの質問についても、丁寧に回答していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	市町の担当者の意見交換が主な会議内容だったが、アドバイザーから最新の動向や助言等をいただいたことにより、市町の今後の取組の参考になったものと思われる。	

(具体的にご記入下さい)	たしこにより、中町の今後の取組の進捗により対応してまいります。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	③途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	標準化については、令和7年度末が移行完了目標とされているため、来年度以降も継続的に取組を進めていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 県内市町担当者へのアンケートは今後実施予定。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	標準化およびオンライン化について、県内市町が、国が示すスケジュール通り作業が完すること。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

3-2.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

The screenshot shows a Zoom meeting interface. On the left, a presentation slide titled "総務省調査(標準化に関する移行スケジュールの調査) 回答結果" is displayed. The slide content includes a table with columns for "団体名" and "回答内容と状況". The table lists several municipalities and their responses regarding the migration schedule for standardization. On the right, a grid of 25 video thumbnails shows participants from various locations, including 前田, 広島県デジタル県庁推進, 三原市, 広島県 塚本, 福山市, 三次市 宮本, 三次市 西田, 大崎上島町, 廿日市市, 熊野町, 庄原市, 大竹市, 神石高原町, 坂町, 広島県デジタル県庁推進, 尾道市, 府中市, 広島市情報シス..., 安芸太田町, 三次市 小笠原, 北広島町, 広島県 横川, 広島県 藤永, 東広島市 川西, 海田町, 広島県 藤永, 東広島市 川西, 海田町. The bottom of the screen shows the Zoom control bar with 37 participants, chat, screen sharing, recording, and other options.

